

和歌山城周辺格安巡り

5班

真っ赤に染まる紅葉

紅葉溪庭園は、西之丸庭園とも呼ばれています。紅葉溪庭園には、たくさんの紅葉が生えていました。いつもきれいな紅葉溪庭園ですが、真っ赤な紅葉が色付く時期には、また違った表情を見せてくれます。そして、堀の中に浮かぶ、「鳶魚閣」は格別です。まるで、絵に描いたかのような美しさでした。そもそも、紅葉溪庭園は、徳川頼宣が、西之丸に築いた庭園で、紅葉溪の名前で親しまれてきました。浅野時代に築かれた内堀の一部と、虎伏山の起伏をたくみに取り入れた、どこかおおらかな感じのする名園です。背景には昔、殿様が通るのにつかわれていた御橋廊下が見えます。友達が調べているので、ぜひ、そちらも見てみてください。鳶魚閣は、見た目が金閣寺や、銀閣寺のような形でそちらを見たことがある方は親近感がわくかもしれません。入り口に入ってすぐの、小さな橋は、両側を池で挟まれており、どちらを見ても絶景です。さらにその先へ進むと、紅葉溪庭園の目玉「鳶魚閣」が間近で見られます。数々の草木が植えられ、大きく息を吸うと、まるで、時間が巻き戻ったかのような感覚になります。少し離れた和歌山市役所前からは、先ほど少し紹介した、御橋廊下が見え、その後ろには、和歌山城が見えます。御橋廊下越しに見る和歌山城はぜひ、写真に収めたいスポットです。たくさんの紅葉に囲まれた「鳶魚閣」。その奥に建てられた、「御橋廊下」。足元には広々とした池。紅葉溪庭園は、どこに目を向けても絶景ばかりです。

感想

和歌山城は今まで、何度も来たことがありました。ですが、紅葉溪庭園に来るのは、初めてです。

とてもきれいで、あの静かで気持ちの良い雰囲気は一生、忘れられません。上にも書いている通りで、紅葉溪庭園は季節によりいろいろな表情を見せてくれます。僕たちが行った時期はまだ緑色の葉が目立っていましたが、紅く色付く季節は、僕たちからもオススメしたい景色です。紅葉が紅く鮮やかになる時期にはどんな姿を見せてくれるのでしょうか。この紅い紅葉と広い池は鳶魚閣のそばになくてはならない存在です。僕たちも友達や、家族と一緒にいきたいものです。また皆さんも自分たちの目で確かめに、足を運んでみてはいかがでしょうか。

